

■ 景観資源



景観資源 類型

- |                       |                   |                        |
|-----------------------|-------------------|------------------------|
| ▲ 地形的ランドマーク           | — 高速道路            | ① 津門中央公園               |
| ○ 親水空間                | — 道路              | ② 津門川沿いのサクラ並木          |
| ● 公共空間の緑 (拠点・軸)       | — 鉄道              | ③ 新川沿いのサクラ並木           |
| ● 保護樹木と境内林・樹林等        | 駅                 | ④ 東川沿いのサクラ・エノキ並木       |
| ● 歴史的建造物              | — 河川              | ⑤ 浄願寺の境内林              |
| ● 文教施設                | — 水面              | ⑥ 津門神社の境内林             |
| ● 現代建造物               | ■ 自然緑地・公園 (1ha以上) | ⑦ 日吉神社の境内林             |
| ● 歴史的まちなみ             |                   | ⑧ 上野神社の境内林             |
| ● 特徴的なまちなみ            |                   | ⑨ 今津灯台                 |
| ▶ 眺望ポイント<br>視方向 ← 視点場 |                   | ⑩ 六角堂 (今津小学校)          |
|                       |                   | ⑪ 大関恒和蔵 (景観賞)          |
|                       |                   | ⑫ 甲子園筋のまちなみ            |
|                       |                   | ⑬ 津門大塚地区のまちなみ (景観重点地区) |

上記の景観資源名を押していただくと  
当該資源の詳細説明のページに移動します。

4-1 津門中央公園			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>東川に架かる橋から見る公園</p>	所在地	地 域	本庁南東地域		
		住 所	津門住江町3		
		座 標	北緯	34.72982	
			東経	135.34729	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	-			
受賞歴等	-				
 <p>津門中央公園内から北側を望む</p>	資源の概要	津門中央公園は4つのエリア(硬式野球場1面、東地区(防災公園)、中地区、南地区)に分かれていて、津門川と東川に挟まれている。春には公園横の川沿いがサクラの名所になる。			
	景観上の特徴	河川軸である津門川と東川、六湛寺川の合流地点に立地する公園であり、公園と堤防の豊かな緑が付近の工業景観にうおいをあたえている。			

4-2 津門川沿いのサクラ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>津門宝津町のサクラ並木</p>	所在地	地 域	本庁南東地域		
		住 所	津門仁辺町、津門宝津町、津門稲荷町		
		座 標	北緯	34.73389	
			東経	135.35239	※座標は代表点を示す
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	-			
受賞歴等	-				
 <p>津門仁辺町のサクラ並木</p>	資源の概要	津門川は市域の中央部を北から南に流れる2級河川で、主な水源は、武庫川の百間樋水門からの導水と山陽新幹線六甲トンネル内の湧水である。津門宝津町から国道2号に向かって、サクラ並木が連続している。			
	景観上の特徴	連続するサクラ並木が、川沿いや周辺の景観に四季の彩りを加えている。			

4-3 新川沿いのサクラ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	甲子園浦風町～今津久寿川町、甲子園網引町	
座 標	北緯	34.72703	
	東経	135.35987 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	甲子園浦風地区地区計画	
受賞歴等		-	
資源の概要		鳴尾新川はかつて鳴尾の新田開発のための水路で、鳴尾浄水場あたりが源流といわれている。	
景観上の特徴		川沿いのサクラ並木の外側にふくらむように豊かな緑が残り、それらが一体となって付近の住宅地にうるおいを与えている。	



新川沿いの歩道から見るサクラ並木



新川に架かる橋から見るサクラ並木

4-4 東川沿いのサクラ・エノキ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	用海町、浜松原町	
座 標	北緯	34.73003	
	東経	135.34613 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		六湛寺川と東川間を国道43号から南に向かって連続するサクラ・エノキ並木である。	
景観上の特徴		川沿いの水辺空間とサクラ・エノキ並木が、市街地のなかでうるおいを与えている。	



サクラ・エノキ並木①



サクラ・エノキ並木①

4-5 浄願寺の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	津門呉羽町 8-32	
	座 標	北緯	34.73108
		東経	135.35336
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	クス、クロマツ、イチョウ：西宮市保護樹木<番号：43,44,45>(昭和48年10月22日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	旧街道沿いに立地する浄願寺の境内地に保護樹木3本が立つ。		
景観上の特徴	道路際の境内林と築地塀が乾いた印象となりがちな駅前通りの空間にうるおいを与えるとともに、旧中国街道の面影を今に伝えている。		



山門と保護樹木群



今津駅側から見る隣接する神社と浄願寺

4-6 津門神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	津門西口町 14-15	
	座 標	北緯	34.73537
		東経	135.34882
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:41>(昭和48年10月22日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	津門神社の境内林内に立つ樹高17m、幹周523cmのクスノキ。		
景観上の特徴	参道沿いからつづく境内林と隣接して立つクスノキのまとまった緑が、付近の住宅地にうるおいを与えている。		



津門神社の入口から見る境内林



津門神社周辺の住宅地から見る境内林

4-7 日吉神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	津門大箇町 8-31	
	座 標	北緯	34.73508
		東経	135.35720
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	日吉神社は西宮市東部の国道2号沿い、津門大箇町に鎮座する。境内林として大きなクスノキなどが立つ。		
景観上の特徴	住宅地の中にまとまった緑が残り、うるおいを与えている。		



日吉神社の境内林



東から見る境内林

4-8 上野神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	今津上野町 7-15	
	座 標	北緯	34.72906
		東経	135.35871
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	上野神社は阪神電鉄久寿川駅の北東 300m あたりに鎮座する。旧国道から奥まった所に境内林がある。		
景観上の特徴	住宅地の中にまとまった緑が残り、うるおいを与えている。		



上野神社の石灯籠と境内林



上野神社の境内林

4-9 今津灯台		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	今津西浜町 17	
座 標	北緯	34.72065	
	東経	135.34610	
建設年等		安政 5 年(1858)	
指定等	景 観	-	
	文化財	市指定有形文化財(昭和 49 年 3 月 20 日指定)	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		<p>今津灯台は市の指定有形文化財で、「大関」の醸造元(現・大関株式会社)の五代目・長部長兵衛氏によって文化 7 年(1810)に建てられた現役の木造灯台である。現存する灯台は、安政 5 年(1858)に六代目の文次郎氏によって再建されたものである。江戸に酒を運ぶ樽廻船の航行の安全を願って建設された。</p>	
景観上の特徴		<p>周辺の景観が大きく様変わりするなかにおいても、その存在感は薄れることなく、今津地区の重要なランドマークとして、大切に保全されている。</p>	
 <p>東川水門と今津灯台</p>			
 <p>今津灯台</p>			

4-10 六角堂（今津小学校）		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	今津二葉町 4-10	
座 標	北緯	34.72638	
	東経	135.35250	
建設年等		明治 15 年(1882)	
指定等	景 観	西宮市都市景観形成建築物等(令和 3 年 6 月 22 日指定)	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		<p>明治 15 年に今津小学校校舎として建設され、現存する当時の洋風小学校建築としては、長野県松本市にある旧開智学校(国宝)に次ぐ歴史的に貴重な建築物である。設計は神戸などで洋風建築を手がけた大工である松本源七氏とされている。左右対称のデザインで、意匠を凝らした六角形の張り出し望楼を建物正面中央に配して強調しているのは、明治初期の洋風建築の特徴の一つであり、シンボリックな外観を印象付けている。時代や用途に合わせて内部を改修するなど柔軟な対応で使われ続けた結果、外観はほぼ往時の原型をとどめており、歴史的にも貴重な建築物である。</p>	
景観上の特徴		<p>何度かの移築を余儀なくされながらも、現在は多くの人々が目にする小学校の正門脇に移築され、地区のシンボルとして、往時の記憶を今に伝えている。</p>	
 <p>今津小学校前から見る六角堂</p>			
 <p>酒蔵通りから見る六角堂</p>			

4-11 大関恒和蔵		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	今津社前町 6-31	
座 標	北緯	34.72467	
	東経	135.35264	
建設年等	平成 8 年(1996)		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	第 2 回西宮市都市景観賞(平成 9 年度)		
資源の概要	大関の恒和蔵は昭和 28 年(1953)より稼働していたが、平成 7 年(1995)の震災で倒壊した和光蔵と一体化して平成 8 年(1996)に新しい恒和蔵として完成し、主力蔵として機能している。		
景観上の特徴	酒蔵通りに面して土壁をモチーフとして用いた塀が整備され、歴史ある風情を演出しつつ、酒蔵通りの景観の風格を高めている。		



酒蔵通りと県道 343 号線の交点から見る大関恒和蔵



酒蔵通り側の大関恒和蔵と並木

4-12 甲子園筋のまちなみ		資 源 類 型	特徴的なまちなみ
所在地	地 域	本庁南東地域	
	住 所	上甲子園 1 丁目、甲子園三保町、甲子園二番町～甲子園五番町	
座 標	北緯	34.73001	
	東経	135.36802 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	甲子園筋は旧枝川が流れていた跡地に整備された通りである。阪神電鉄の路面電車(甲子園線)が走っていたが、昭和 50 年(1975)に廃止された。		
景観上の特徴	天井川であった枝川の護岸に設けられた御影石の石積み各所に残り、歴史ある住宅地の風格を高めている。		



甲子園二番町のまちなみ



甲子園三番町のまちなみ

4-13 津門大塚地区のまちなみ		資 源 類 型	特徴的なまちなみ	
 <p>南北道路から東側を望む</p>	所在地	地 域	本庁南東地域	
		住 所	津門大塚町	
		座 標	北緯	34.73755
			東経	135.35777 <small>※座標は代表点を示す</small>
	建設年等	-		
指定等	景 観	津門大塚地区景観重点地区(平成 28 年 1 月 8 日指定)		
	文化財	-		
	環 境・その他	津門大塚地区地区計画		
受賞歴等	-			
 <p>津門大塚地区の商業施設</p>	資源の概要	津門大塚地区は、南を国道 2 号、北を JR 神戸線(東海道本線)、西を阪急今津線、東を名神高速道路に囲まれたアサヒビール西宮工場跡地である。この工場跡地における大規模土地利用転換に際して、南部市街地の中心部に位置する交通至便な立地条件を活かした良好なまちづくりの実現を目標に、新たなルールを開発事業者と市で検討してきた。		
	景観上の特徴	景観重点地区として、魅力的な建築物や賑わいを演出する質の高い広告物、豊かなみどりの配置などにより、新しい交流の場として市民に親しまれる景観形成を目指している。		